

開花に向けて準備開始

ザゼン草群生地の木道清掃

市立金丸小学校の児童による「ザゼン草群生地の木道清掃」が実施されました。近年、国内でも湿地が激減しており、大田原市のようにザゼン草が群生している状態は珍しく、なかなか見ることができなくなりました。この地でも、ここ数年でザゼン草を取り巻く環境の変化により、花数が減少してきています。地元の宝として、かつての風景を取り戻すため、群生地や周辺の環境保全・改善を地域ぐるみで取り組んでいます。

12/15



12/18

八溝材を使用しすべて手作り

雲巖寺山門模型寄贈



市内小滝の駐在所に勤務していた島 裕志さん(鹿沼市在住)が、八溝材(桧)を使用して製作した「雲巖寺山門」の模型を寄贈されました。

島さんは、雲巖寺には何度か行ったことがあり、その時の記念の意味で製作したそうです。図面がなかったので、自分で測って製作し、約 1/20 の大きさになります。見どころは屋根の裏側の木組みの精巧さです。現在、総合文化会館 2 階ロビーに展示されています。

13 年ぶりの快挙

大田原小バレー部 関東大会出場

市立大田原小学校バレー部(大田原エンジェルス)が第 39 回栃木県小学生バレーボール大会で準優勝し、念願の関東大会出場を果たしました。

大田原エンジェルズの選手たちは、日ごろの厳しい練習にも、今まで 1 人も欠けることなく耐え抜き、素晴らしいチームワークを発揮しました。今後も、頑張っていたきたいですね。おめでとうございます。

12/18



12/26

大田原市出身で初となるプロ野球監督

真中 満 新監督が市長を訪問



プロ野球 東京ヤクルトスワローズ来季監督の真中満氏が市長を訪問されました。ヤクルトひと筋の真中氏は、選手として 4 度の日本一に貢献してきました。昨年は 2 軍監督として 5 年ぶりにイースタン・リーグ優勝に導き、今季は 1 軍打撃コーチとして、リーグトップのチーム打率を誇る強打線を組み上げた手腕の持ち主です。市長からは、激励の言葉や「一矢必中」の扇が贈呈され、「優勝を狙っています」と力強く応えてくださいました。

親子で走る冬の祭典

芭蕉の里くろばねマラソン大会

寒さ強まる冬の黒羽運動公園で、熱い戦いが繰り広げられました。コースは2～10kmを年齢・性別に分けて設定された14クラスです。それぞれのクラスで熱戦が繰り広げられました。

親子ペアのクラスでは親子が手をつないで走る姿が見られ、心が和む光景もありました。

12/23



最新鋭の救助器具で救出訓練

大田原地区広域消防組合出初め式

消防職員120人の参加により、機械器具点検や放水点検などが披露されました。また、川の中州に男性が取り残されたという想定で、新しく導入された最新鋭の救助器具を使用した救出訓練が実施されました。この器具は、ロープと滑車などで効率よく少人数でも安全に救助できます。

消防技術の向上を目指す姿勢が強く感じられました。

1/6



1/7

大田原市での縁結びはお任せ

婚活マスター認定証交付式

独身男女の結婚支援の一環として、婚活マスター制度を創設し、市長から認定証が交付されました。今回、婚活マスターとして登録された方は、個人情報保護や未婚者をサポートする際の注意点などについて、専門家から学んだ73名です。定住を導き、少子化、人口減少に歯止めをかけることが期待されています。

